

『風は南から』

令和5年度 校長室便り
(5月24日)(第4号)



「不易と流行」について

5月22日(月)の全校朝会では、「不易と流行」について考えてもらいました。

「不易」とは、いつの時代でも決して変わるものがない本質的なもので、変えてはいけぬもの。例えば、親が子どもに抱く慈しみの気持ちや弱い立場にある人への思いやりや優しさがそれに該当するかもしれません。「流行」とは、時代と共に変わるもので、人間関係でいえば、コミュニケーションの図り方やICT化に伴う仕事の進め方などを指すのかもしれません。

そこで、世の中にある様々な問題を考えていく時に、それが不易なものなのか、流行に過ぎないのかを見極めていくことが必要になります。例えば、「裁判の判決は全てAIに任せるべきである」とか、「お墓は全て廃止して、自然葬にするべきである」について考えてみると、公平性や費用の面、持続可能な社会という観点からすれば利点があるかもしれませんが、宗教・哲学・人間の心理という観点からすれば、容易に判断できる問題ではないことがわかります。それは、様々な角度から総合的に判断しなければならないからです。その判断する時に必要になるのが、その人の持つ「教養」だと思えます。

「教養」を身に付けるには、まずは正しく知る・学ぶことです。授業や読書、気になることを自分で調べることを通して、正しく知る。そして、知識を増やしながら考える力を養うことで「教養」が身に付きます。

人間の考え方にも、不易と流行があります。人には譲れないもの、不動のもの、守りたいものがあります。それは自分の支えにもなるもので、とても大切な部分です。しかし、そこに新しいことも柔軟に取り入れていくと、視野が広がり、その人の人生が豊かになります。

これからは、変わってはいけぬものは大切にしながら、新しいものも柔軟に取り入れていくことが重要になると私は考えています。それを見極めるのに必要な力が「教養」です。高校時代に多くのことを吸収して、考える力を養ってください。

ふるさとのためには 誠をささげよ
友達のためには 涙を流せ
己のためには 汗を惜しむなかれ
創立30周年記念講演「努力こそ」より
(講演者 甲斐 不二男 氏)

ALT 新任式

5月22日(月)の合同終礼で、ALTのLogan Abbot先生(米国出身)の新任式が行われました。先生の挨拶の後、生徒を代表して、本部しおりさんが歓迎の挨拶をしました。古仁屋高校から来られますが、続けて1週間は勤務されますので、積極的にコミュニケーションを図ってください。また、本年度は県教委主催の「高校生イングリッシュ・トレーニングキャンプ」が対面で行われます。積極的に応募して、英語の運用能力を高めてください。



県高校校総体・全国高校野球鹿児島大会に向けた壮行会

5月8日(月)全校朝礼の中で、5月から始まる県高校総体、並びに全国高校野球鹿児島大会に参加する部活動の壮行会を行いました。まず、それぞれの部の主将が大会に向けた抱負と意気込みを語りました。続いて、生徒を代表して、生徒会長の川上天歌さんが、「悔いのないよう全力を尽くし、それぞれの目標を達成させ、ぜひ沖高の名を県内に轟かせてください」と激励の言葉を述べました。



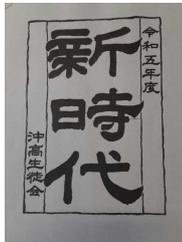
4月29日から30日にかけて行われたサッカー南九州交流大会(鹿児島県と宮崎県のベスト16以上のチームが参加)では、サッカー部が準優勝を果たしました。



また、5月2日に行われた陸上部の大島地区大会では、男子が総合優勝、女子は準優勝し、個人では、3年3組福島基也さんが200M走で、2年3組坂本蓮さんが砲丸投げで、それぞれ大会新記録を樹立しました。これからの大会は、3年生にとっても最後の大会になります。生徒一人ひとりが完全燃焼し、目標を達成できることを心から祈っています。

令和5年度 生徒総会

5月12日(金)に令和5年度の生徒総会が開かれました。1号議案の令和4年度活動報告から、第6号議案の議題・要望事項等まで、滞りなく承認されました。6号議案①「朝課外の在り方」については、開始時間や日数、在り方そのものに関する意見が出されました。また6号議案②「要望事項等」では、校庭の時計の修理や、空調施設の運用に関する件、また学校行事でのスマホの使い方に関する意見が出されていました。生徒一人ひとりが、学校生活を改善するためにどうすべきかについて考えるよい機会になったと思います。生徒会の皆さん、ご苦労様でした。



5月15日(月) 学年朝礼

沖高では、全校朝礼の他に、学年朝礼、学科朝礼が行われています。会ではその時期に行われる行事や教育活動について、所属団体ごとに共通理解を図っています。5月15日は第1回目の学年朝礼が行われました。3学年部では、3年3組が担当で、6人の生徒がこれから夏までに行われる行事等について、それぞれ計画や目標について思いを語りました。その後の担任の上村先生の話の中で、中間考査まであと4日、文化祭まで19日、体育祭まで27日、期末考査まで43日、夏休みの三者面談まで67日と、残された日数が具体的に示され、それぞれに向けて計画を立てて、しっかり準備をしていくこと、特に進路については志望がそれぞれ異なるため、自分で調べて早めに志望校を決めて、その実現に向けて早くから努力することの重要性を全員で確認しました。

